

キャラクター名 陰藤 陽 (あんどう ひなた) プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	パロール					
オプション			年齢	16	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	37	%
出自	疎まれた子	経験	トラウマ	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	12
感覚	1	0	0		3	4	(非装備時)	12
精神	3	1	0			4	戦闘移動	17
社会	2	0	0			2	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	0	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	4r+5		9		@8
	RC	5r+5		9		侵食値60↑ @8
	RC	6r+5		9		侵食値80↑ @8
	RC	7r+5		12		侵食値100↑ @7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
特殊プラスチックシールド	4	4			

所持品		合計装甲:	4	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	タス	消費
実験体	P	N			
八重樫 若菜	P 信頼	N 隔意			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:	0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンテ:サラマンダー	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-2(下限7)							
氷の塔	3	4	Xジャー	視界	範囲選択	RC	-	
効果:	攻撃力+[Lv*3] 同一エンゲージ不可							
憎悪の炎	1	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	憎悪付加 対象自分							
氷盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード値+[Lv*5]							
斥力跳躍	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	飛行戦闘移動 移動距離+[Lv*2]							
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード値+[Lv]D							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	判定強制失敗 1リソ1回							
炎神	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	加ダメージを行う 1XインP1回							
熱感知知覚	★							
効果:								
ポケットディメンション	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

使用サブリ: 基本12 EA 上級
 コンセプトは氷の塔憎悪の炎でタゲ取って氷盾グラビティガードで耐える。

彼女は、生まれながらに"霊"が見えた。
 もっとも、最初は"冷気"を感じてただけだった。
 霊のいる場所は気温が下がるなんて迷信だと言われるが、彼女にとっては当たり前のことだった。
 生まれながらにして"霊"とは"冷たいもの"と認識していたからだ。

子供の頃から霊が見えると訴えていた彼女を、周囲は嘲笑し、挙げ句薄気味悪がった。
 小学生の頃、彼女のクラスメイトが面白がって心霊番組に彼女の事を応募したことがあった。
 「霊が見える少女」だなんて大々的に取り上げられ、取材スタッフが面白半分で押し寄せた。
 彼女が本当に霊が見えるなら、心霊写真の1つでも撮れるだろうと考えたのだろう。
 彼女の意向そっちのけで撮影が進むが、一向に霊が映り込む様子はない。
 落胆した撮影スタッフはやがて彼女にわざと聞こえるように罵倒を口遊む。
 そして野次馬根性で集まってきたクラスメイトはその様子を嘲笑する。
 彼らにとって彼女は都合のいい"実験動物"でしかなかったのだろう。
 少女にとって、それはあまりにも残酷な公開処刑だった。

彼女の周囲を無数の憎悪を孕んだ冷気が飛び交い、その場に居た全員を混乱と恐怖に陥れたのはそれから間もなくであった。
 彼女の言う霊の正体...それはサラマンダーの能力によって発現していた彼女自身の冷気であった。